



画像提供/木古内町観光協会

寒中みそぎ祭り

2月10日(日)午後4時放送

HBC 北海道放送

ダイドードリンコスペシャル

「厳寒! 荒行! 4つの魂。

~木古内、寒中みそぎ祭り~」

放送記念、豪華景品が当たる抽選会がございます。詳細は、ダイドードリンコ公式HPにてご確認ください。



冷たいところが“痛い”とまで言われる嚴寒期を迎える北海道の1月。その寒さの中183年近くから毎年、疊湯造作を折廻して行われているのが、道南の木古内町の「寒中みそぎ祭り」。地元を中心にはばれた4人の若者、いわゆる行旅者(ぎょうしゅうしゃ)は、佐文川(さめがわ)神社に2日間参り、昼夜を問わず氷点下の寒風に裸体をさらして冷水を浴びる“水ごり”を繰り返します。濡れた体をタオルで拭くと、切れてしまふほど皮膚は凍つき、後ろから丸太で叩かれるような苦痛…。そして3日目に、行旅者たちはそれぞれ御神体を抱き、荒波舞う津軽海峡に飛び込んで、海水で御神体を洗い済めるという

おひな祭り

今年最後の
日本の祭り



ダイドードリンコは、全国の地域に根ざした祭りを応援しています。詳しくは、dydo-matsuri.com